

語釈：インターネット Twitter 上でみる Trump 米大統領の英語（8） (A Basic Way of Reading Trump-Language)

後 藤 寛

本連載では Basic で培った英語力をよりどころとすれば、あらゆる英文が基本的にはすべて推理でき理解できるという考え方から、Trump 大統領のツイートのいくつかを後追いする形で、在任中の彼の生き方の軌跡をたどっている。

昨年夏の西日本豪雨は国内の最大社会ニュースの 1 つであったが、その時 Trump 大統領は悔みの念を日本向けに Twitter 上に書いた。今回まずは、それを①として見ておきたい。②は同時期、ベルギーの Brussels での NATO 会議の直後に、フィンランドの Helsinki で開催された Putin との米ロ首脳会談後に書き込まれたツイートである。

① Our prayers are with those affected by the flooding in Japan. We commend the rescue efforts and offer condolences to all who were injured or lost loved ones.
(July 14, 2018)

▲日本（西日本）の豪雨災害で亡くなり、負傷した人への悔みとともに米国からの救援の手を差し伸べるという内容で、Trump 大統領が頻繁に用いる英文スタイルである。

波線の 9 語のうち **offer** が Basic 語、*prayer*, *flooding* (<flood), *effort* がプラス α Basic 語、他は un-Basic 語である。

prayer (祈り) は韻文・聖書用語としてのプラス α Basic 語である。正式な分類上は韻文用語であるが、韻文用語 100 語・聖書用語 50 語は Basic では両用される

affect は PIE etymon の音 (素) 形 /FAK/ に由来し「作り出すこと(to make)」が原義である。本連載(3)の①でもすでに見たが、Basic 語の **effect** をはじめきわめて多くの英語が誕生した〔拙著(2016)「松柏社」、第二部、例(27)参照〕。

flood の語頭子音 [fl] は元は [pl] で、[p]→[f] は本連載(5)の②で触れた印欧祖語 (PIE) からゲルマン語系への派生で起こった子音変化の法則(Grimm's law)による音変異で、原義は「流れること(run)」である。Basic 語 **flight** など、プラス α Basic 語 *flow*, *influenza*, etc.、un-Basic 語 *fluent*, *float*, *flee*, etc. が同系となる。[p] では *pluvial* (多雨の)、*pluviometer* (雨量計) などがある〔同上拙著、第二部、例(145)参照〕。

commend は、「手(hand)を差し伸べること」を意味する PIE etymon の音素形/MAN/に由来し Basic 語 **manager** など、プラス α Basic 語 *demand*、un-Basic 語 *recommend*, *manner*, *manual*, *maneuver* (作戦・策略)、*manure* (肥料・肥料を与える) などすべて同系語である〔同上拙著、第二部、例(24)参照〕。

rescue などの語中の音声 (音素) /sk/ は何かを「揺すり叩くこと(shake, blow)」という意味をもつ。実は Basic 語の **discussion** と同系(paronymic)であるし、un-Basic 語の *percussion* (衝撃) などもそうである。/kʌs/ も同じ系統となる。

effort の語根部 *fort* は「力強いこと」の意味で、音楽のほうのカタカナ語にイタリア語からのフォルテ(forte)があるが、un-Basic 語の *fort* (砦)、*afford*, *fortune*, etc. は同系である。Basic 語によりどころを求めれば **force** が同系であるし、さらに実は **comfort** もそうである〔同上拙著、第二部、例(103)参照〕。

offer など [fə] と響く音声は「運ぶこと(to let ... go)」が原義で、こういう語が英語に多くある。Basic 語 **different**、プラス α Basic 語 *reference*、un-Basic 語 *conference*,

prefer, transfer, suffer, etc.がそうである〔同上拙著、第二部、例(66)参照〕。

condolence は接頭辞 con から意味は文脈推理(contextual reasoning)できよう。これは{con (= with, together) + dole (= to be sad) + nce}と構成要素分解できる。

最後の太線語 injure の語根部 jure は「正しいこと(to be right)」を意味する。{in (= not) + jure (= right)}で、injure (傷つける) は「本来の正しい状態でないこと」が原義である。un-Basic 語 just, justice、また judicial (裁判の・司法の)、perjury (偽証)、prejudice (偏見) なども同系語である。[dʒʌ], [dʒə], [dʒər] ([dʒə])などと響く音声が「正しいこと」を意味する例となる。

さらに、たとえば jurisdiction (管轄) などもこの系統の語で、「正しいこと」が「権利のあること」の意味ともなる。このあたりはまさに**音感からの語感の感知**ということになる。重要な点である。これら一連の un-Basic 語も本来の Basic 語に同系語を求めれば **judge, adjustment** などがあることが見えてくる〔さらに他の多くの例は同上拙著、第一部、p.11、また第二部、例(46)参照〕。

以上すべてを踏まえ、全体が一大オーケストラをなし脳に響いてくる感じがするまで、**音感を意識した段落読み(paragraph reading)**をリズミカルに繰り返すのである。これはどの例についても言える。そして最終的にはその paragraph 全体の内容を概略的にでも **Basic** でならどう言うかを、1 文ではなく複数個の文で分析的に心の中で paraphrase (換言) 化しておくことである。英語力が確実に根を下ろしてくる。

② While I had a great meeting with NATO, raising vast amounts of money, I had an even better meeting with Vladimir Putin of Russia. Sadly, it is not being reported that way – the Fake News is going Crazy! (July 17, 2018)

▲冒頭でも若干触れた NATO 会議で、Trump 大統領は強硬に多額の軍備費を要求したと伝わっている。その直後に Putin ロシア大統領と会談し良好な成果があったにもかかわらず、偽メディアはそうは報道していないと Trump 大統領が憂えている内容である。ここでは vast と彼が頻繁に用いる語 crazy を波線としたが、注目しておこう。

vast (膨大な・巨大な) は、元来は empty space (空っぽの空間) の意味であり「無限に広がる空間」と理解すればよい。vacation, vain, avoid, void, etc.と同系で PIE etymon は/EU/とされているが、英語では[v]音となってラテン系の語が誕生した。

crazy の原義は目下のところ定説はないが、動詞形 craze (粉々に壊す) の初頭音/kr/の音感からすれば scrap (破片・断片)、scrape (引っかく) などともつながっているような気もする。Basic 語 **screw** などとも、やはり根元ではつながっているかもしれない。同時に一方で案外 crazy < craze のルーツは擬音語(onomatopoeia)ではないか? とも筆者は直感するがどうだろう。今後さらに追ってみたい語の1つである。なお、この crazy は名詞として「狂人」の意味でもよく用いる。

ところで、この時期に次の写真が Twitter 上に掲載されたが何を意味するか?



こ



(Who is this man? This is a picture of Trump's and Putin's faces put together.)

の2つの写真のうち左側は米国とロシアの関係改善?を象徴している。昨年、ロシアで開催されたサッカー・ワールドカップ (W杯) が閉幕し、2026年のW杯(FIFA World Cup)開催国はアメリカ大陸の

米国・カナダ・メキシコ3カ国共催となり、今度はボールが米国側にあるとし、Putin大統領がボールを Trump 大統領に手渡している。

実はその後にこのボールには盗聴器？が仕組まれていて、手元のスマートフォンなどにもつながる？奇妙な贈り物だったなどという返信ツイートもあった。Trump ははめられた(Trump got framed and played.)という意味になる。それを次に示しておく。

Putin's soccer ball for Trump had chip that can transmit data to nearby phones.

Strange gift. (July 26, 2018)

右側の写真（英文は筆者）は米誌 *Time* (2018年 07/30 日号) の表紙に掲載された Trump と Putin の合成写真で、いわば TrumPutin (トランプーチン) のモンタージュ写真である。対北朝鮮と同じように米国はロシアに譲歩のしすぎだなど議論があるなか、両者の関係が一体化した？ことを皮肉的に象徴する顔写真となる。TRUSSIA という語呂合わせの造語もある。また、RUSSIA という英語の国名中には USA の3文字が組み込まれてもいるが…。